

## 個人質問



秋田 進 議員

**Q** 消防団員確保のための取り組みについて

**A** 市内事業所への個別依頼や、消防団員支援制度について研究する

**Q** 火災や災害の際に、いち早く自宅や職場から駆け付け、対応に当たる消防団の重要性が再認識されている一方で、全国的にその減少が懸念されている。本市におけ

る団員確保のための方策を伺う。

**A** 消防長 本市でも定員確保に相当苦勞している。このため、郵便局等の市内事業所に個別依頼することや、瀬戸市で実施されている消防団員支援制度についても研究していきたい。

**Q** 本市での愛知県消防操法大会の開催について

**A** 消防団活動への理解促進のために大変意義のあることと考える

**Q** 愛知県消防操法大会には、本市の消防団も毎年参加し、長期間

にわたる厳しい練習や、関係各位のご尽力によって、大変優秀な成績をおさめている。この大会を本市で開催できるのであれば、消防団活動に対する市民理解の促進に貢献するものと考えているが、状況を伺う。

**A** 消防長 本市で開催できれば、本市のPRはもとより、市民理解の促進の点でも大変意義のあることと考えている。4月以降、新体制となった消防団役員により、協議していきたい。

その他の質問項目

・公園設備の整備について



みとべ 茂樹 議員

**Q** 握力が弱くなりスプレー缶の穴あけができないときの収集法の改善について

**A** 穴あけができない場合は環境事業センターで受け取れる体制を整える

**Q** 高齢化（身体機能の低下）により握力等が弱くなりスプレー缶の穴あけができなくなった方などの収集・ゴミだし方法の改善と、

本市の対応について

**A** 市民生活部長 スプレー缶を不燃ごみから危険ゴミへと分別回収するとともに、穴あけが困難な方のスプレー缶は直接環境事業センターで受け取る体制を整えていく。

**Q** 災害危険度の裏付けデータをもとにした被害想定での課題について

**A** 地震の揺れの規模を把握する必要がある。地盤データの収集と分析が必要

**Q** 建物・人的被害をより密に計算することにより地域防災計画の

数値的基礎となり、防災・減災対策につながると考えるが被害想定

**A** 総務部長 600本のボーリングと20か所への地震計の設置により、50m四方での表層地震動の想定データが収集できる。被害想定を細かに分析し、その対応計画を立案し、広く市民の方へ周知も図れるようにしていきたい。

**Q** 子育て支援のための川南保育園の施設整備について

**A** 新園舎の建て替えにより定員拡大、子育て支援センターを設置していく



若杉 たかし 議員

**Q** 「自転車のまちづくり」について

**A** 市民団体との協働により自転車教室や啓発活動などを行っていききたい

**Q** 堺市では市民団体と一緒に区民祭や大型商業施設でブースを出展し、ルール、マナーの啓発を行っている。本市においても行

うことができないか。

**A** 市民生活部長 市民団体が開催する「じてんしゃ教室」の継続的な支援と、こうした団体と協働して、自転車転マナーの向上や啓発活動なども行っていきたい。

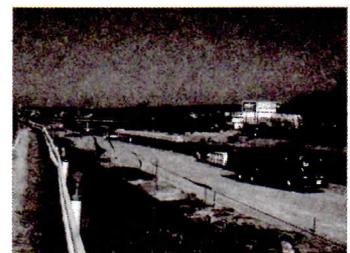
**Q** 矢田川河川敷の今後の整備計画について

**A** 宮下橋上流から狩宿新町のやすらぎ歩道まで散歩道を整備する

**Q** 現在、西本地橋付近で県の低水路整備が行われているが、今後

どのように河川敷が整備されるのか。

**A** 都市整備部長 愛知県の河川敷整備完了後、自転車の通行も含め、皆が安心して自然を感じながら利用できる魅力あふれる空間に整備したいと考えている。



矢田川河川敷